

あなたと議会をむすぶ

議会広報  
令和4年8月25日発行  
第171号

# あじがさわ

発行…青森県鱒ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鱒ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸321番地 編集…議会広報編集委員会 ☎0173②2111(代)

この広報紙は再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。



## ～ 豪雨の爪あと ～

8月9日から13日まで町内は豪雨に見舞われました。総雨量は降り始めから345.0ミリ（例年の8月、1ヵ月分を超える雨量）となり、記録的な豪雨となりました。

この豪雨により、町内445棟が床上・床下浸水するなど、甚大な被害が発生しました。

令和4年8月16日

※最終ページに、豪雨災害について載せています。

6月  
定例会号

第2回定例会	2～3
一般質問（4人が傍聴）	4～5
議員管内行政視察	6
議員行政視察	7
議会改革特別委員会 ICT活用について研修・視察	8
議会活動、議員研修会	9
豪雨災害	10

鱒ヶ沢町議会ホームページへアクセス

鱒ヶ沢町議会 検索



QRコードは  
こちらから

令和 4 年  
第 2 回  
定 例 会

< 会 期 >  
6 月 7 日 ~ 9 日

# 公共施設等管理維持体制持続化事業ほか 1 億 2 5 7 3 万円を増額補正

令和 4 年第 2 回定例会が 6 月 7 日から 9 日までの日程で開かれました。開会日の 7 日、条例改正案、一般会計補正予算案など議案 5 件、報告 2 件が上程されました。

8 日の一般質問では、議員 2 名が鵜ヶ沢高等学校存続のための支援策について、津軽港の整備拡充についてなどを町政へ問いました。(質問内容は 4 ~ 5 ページに掲載しています。)

最終日には、本会議において審議の結果、全ての議案が原案どおり議決されました。

主な議案等は次のとおりとなっています。



▼ 条例の一部改正 **可決**

## 町営住宅条例の改正

近年、身寄りのない単身高齢者が増加し、町営住宅への入居に際して連帯保証人の確保が困難になることが懸念されることを考慮して、連帯保証人を 2 名から 1 名へ減じるため、改正を行うもの。

## 介護保険条例の改正

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による介護保険の第 1 号被保険者保険料の減免措置について、所要の改正を行うためのもの。

令和 4 年 4 月 1 日から適用

## 【改正内容】

減免の対象とする保険料納期限を令和 5 年 3 月 31 日まで延長

## 産業振興促進区域における固定資産税の特別措置に関する条例の改正

租税特別措置法及び租税特別措置法施行令の改正による、引用条項の所要の改正を行うためのもの。

## 報酬及び費用弁償の額並びにその支給条例の改正

消防団の充実強化と団員の士気向上を図るため、処遇改善をするもの。

令和 4 年 4 月 1 日から適用

### 報酬及び費用弁償の額並びにその支給条例 主な改正内容 (報酬年額の増額)

消防団 団長	82,500円 (旧60,000円)
消防団 副団長	69,000円 (旧36,000円)
消防団 本部部長	50,500円 (旧27,000円)
消防団 分団長	50,500円 (旧27,000円)
消防団 副分団長	45,500円 (旧24,000円)



消防団 部長	37,000円 (旧21,000円)
消防団 副部長	37,000円 (旧18,000円)
消防団 班長	37,000円 (旧15,000円)
消防団 団員	36,500円 (旧14,000円)

▼ 令和 4 年度一般会計補正予算 **可決**

一般会計予算は、歳入・歳出それぞれ 1 億 2 5 7 2 万 8 0 0 0 円増額し、補正後の予算総額は 7 3 億 9 0 7 2 万 8 0 0 円となりました。

## 【主な歳入補正予算】

- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金 3 2 7 2 万 2 0 0 0 円
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金 1 4 9 7 万 7 0 0 0 円
- ・ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 4 4 6 2 万円
- ・ 新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金(事業費) 4 5 0 万円
- ・ 新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金(事務費) 9 4 万円

【主な歳出補正予算】  
 ・自治体DX推進事業費  
 ・（マイナンバー）システム  
 ・改修ほか）  
 1034万円

・新型コロナウィルスワ  
 クチン接種事業費  
 4793万円

・公共施設等管理維持体  
 制持続化事業費  
 ・（日本海拠点館マルチ  
 モニター改修、日本海



鯉ヶ沢中学校第二体育館付帯施設の外觀

・拠点館空調設備改修、  
 鯉ヶ沢中学校第二体育  
 館付帯施設空調設備改  
 修）  
 4600万円

・消防団員活動費  
 920万7000円

総括質疑のようす

第2回定例会総括質疑  
 の内容を一部抜粋してお  
 知らせします。

【新型コロナウィルス  
 ワクチン接種4回目につ  
 いて】（佐藤薫議員）今  
 回の補正予算の中で、経  
 費として4793万円程  
 計上されておりますが、  
 日程、対応ワクチンなど  
 をお知らせ願います。



ワクチン接種4回目の予約のようす

【（一戸ほけん福祉課  
 長）7月16日から山村開  
 発センターで集団接種を、  
 8月1日からは各医療機  
 関で個別接種を開始する  
 予定としています。また

集団接種についてはモデ  
 ルナを、個別接種につい  
 てはファイザーを予定し  
 ています。

【（佐藤薫議員）自動車  
 借上料として47万600  
 0円予算計上されていま  
 すが、前回は交通手段等  
 がない人のためにバスを  
 出したと記憶しています  
 今回もその対応をすると  
 理解してよろしいか。

【（一戸ほけん福祉課  
 長）バスは今回、出すこ  
 とは予定していません。

【（佐藤薫議員）自動車  
 借上料の内訳をお聞かせ  
 ください。

【（一戸ほけん福祉課  
 長）ワクチンの配布など  
 医療機関を回るために計  
 上しています。

【意見（佐藤薫議員）3回  
 目のワクチン接種の方法  
 を踏襲して4回目も行う  
 ということですので、チ  
 ラシ配布等住民周知につ  
 いては、十分徹底して行  
 うことを要望します。

※掲載内容は、定例会時  
 点のものとなっています。

第 3 回 定 例 会 の 予 定

傍聴を希望される方はマスクの着用をお願いします。



▼9月9日（金）  
 開会予定です

《開会後の日程は  
 次のとおりです》

▽9月13日（火）

一般質問

▽9月14日（水）

総括質疑

各常任委員会

決算特別委員会

▽9月15日（木）

討論、採決、閉会



議会日程は、議会運営委員会において正式に決定  
 されます。

議会傍聴は今までどおり行う予定としています。

今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じ  
 ては、変更する場合があります。

開会中は町役場1階町民ホールのモニターに、議  
 会のようすが流れています。

開催日程、一般質問の議員氏名、質問事項につ  
 いては町防災無線、町ホームページでお知らせします。  
 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。



菊谷 忠光議員

## 鰐ヶ沢高校の生徒、全国募集の内容は 答へオンラインで高校の魅力在全国に発信

鰐ヶ沢高等学校存続のための支援策について

問・オンラインを活用した鰐ヶ沢高校の生徒の全国募集について、具体的な内容を伺います。

答弁・千島政策推進課長 鰐ヶ沢高校が参加する全国募集の事業は、一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォームが主催する地域みらい留学という事業です。

内容として、高等学校合同説明会が6月から9月まで毎月上旬の土日に開催され、オンライン会議ソフトとパソコン、インターネットを使い、各高校が学校説明をし、事前登録した全国の中学生や保護者がパソコンを

使って自宅などで学校の説明を視聴するというものです。

合同説明会で特に関心の高い学校があれば、後日、リモートによる個別説明会に参加し、学校が開催するオープンスクーリングや現地見学等を経て、最終的には高校受験で合格後に入学という流れになります。

鰐ヶ沢高校は、6月5日の合同説明会で6分間のプレゼンを行い、生徒会やSBP（ソーシャル・ビジネス・プロジェクト）の生徒が鰐ヶ沢高校の良さや楽しさをPRしました。

現在、その後の個別説明会に2名が申し込んでいるようでありま

※SBPとは：ソーシャル・ビジネス・プロジェクトの略で、地域の課題をビジネスの手法を用いて解決していくという取り組みのことをい

問・鰐ヶ沢高校の魅力向上のため、ドローンを活用した特別授業を行うようですが、どのような内容なのか伺います。

答弁・千島政策推進課長 ドローンは、様々な業種、場面で活用されています。

ドローンの操作技術を身に付けることで卒業後の就職等、有利に働くものと捉えており、高校在学中にライセンスを取得できれば、高校の魅力化の一つになると考えま



5月に行われたドローンの特別授業の様子

5月には全校生徒を対象に、ドローンの特別授業を実施し、その後希望する生徒に放課後7月から1回ペースで、ドローン操作の体験学習を年5回程度開くこととしてい

問・生徒の下宿先募集について、見込みはどうか伺いたい。

答弁・千島政策推進課長 一般家庭の空き部屋を使つて下宿を行つていただけいかということ

問・下宿のほか、例えば寮や比較的安価で建設でき、使い勝手の良いシェアハウスを建てて生徒を受け入れ、入居する生徒がいなくなつた場合には、後々町営住宅に入居予定の人たちを受け入れるという考えはいかがですか。

答弁・千島政策推進課長 確かに、寮を好む生徒が多いという事は伺っていますし、町にも寮があることが望ましいとも思つてい

しかし、寮を整備しても生徒の入居がなかつた場合のことも念頭に置く必要がありま

※菊谷議員は、このほかにどのような質問をしています。

◆町独自の子育て支援事業について 園子ども医療費給付制度について、医療費無料化の対象を高校生まで引き上げる考えはないか。

※現時点では対象を引き上げることは考えていませんが、県内近隣市町村の実施状況や町の財政・財源確保の状況等を勘案した上で、検討課題としてまいります。



渋谷 悦男議員

### 津軽港の整備拡充について

問・かつての七里長浜港（現津軽港）は、当初今ある岸壁2バースのほか、に大型岸壁と超大型客船やフェリー等にも対応した複合型岸壁の建設が想定されていましたが、今も供用開始当時のまま、想定のおよそ3分の1程度の規模にとどまっています。今後、港湾の拡張整備などの計画はあるのか伺います。

答弁・加藤副町長

当初想定された大型岸壁や複合岸壁の整備については、様々な場面で七里長浜港の青写真のなものが描かれたことはあったようですが、現状の岸壁以上の計画は、正式に

## 経済発展につながる津軽港の更なる整備拡充は 答へ津軽地域が一体となって強く働きかける



津軽港のようす

問・津軽港は、少なくとも津軽広域の海の玄関として経済の発展に繋がっているものと思います。が、更なる施設の整備拡充について伺います。

答弁・加藤副町長

津軽港の整備については、野積み場の拡張、洋上風力のメンテナンス港としての整備に関する点など、県に対し要望活動は行っていますが、県からは、港湾利用者の要望、物流需要、取扱貨物量の推計、経済社会の情勢を見極めながら検討していくとの回答を得ています。まず、整備のための需要調査が必要との認識があります。

修工事、津軽地域の観光産業の活性化に繋がる事業を実施しているものと思っております。

問・本県日本海南側の沖合に洋上風力発電事業が計画され、その建設拠点となる基地港湾の指定に向けた国の意向調査に対し、県では青森港油川埠頭の指定を目指す旨と回答しています。

答弁・加藤副町長

国は、大規模な基地港建設は早期に実現でき、かつ効率的な投資となるよう、ある程度の規模を持つ港が望ましいとして、いることから、津軽港は指定対象から外れたものと推測できます。

一方、現在県が進めている5年総額20億円の事業は、クルーズ船の寄港を見据えた浚渫や道路改

建設は早期に実現でき、かつ効率的な投資となるよう、ある程度の規模を持つ港が望ましいとして、いることから、津軽港は指定対象から外れたもの

と推測できます。よって、町では県に対しメンテナンス港としての情報収集、調査を実施していただけるよう要望しているところです。

問・今後津軽港は、オペレーションメンテナンス等の面からも重要な港として役割が生じてくるものと推測されますが、抜本的な港湾の建設及び改良等を津軽広域の14市町村から成る津軽港利用促進協議会等の場で協議検討され、県並びに各省庁に対して陳情等を強力に推進してはいかがですか。

答弁・加藤副町長

津軽港がメンテナンス港として活用されるかどうかは、地域活性化のために町として極めて重要であり、関連する産業の発展を見据えると、津軽地域の活性化にも繋がる大事業であります。よって、津軽港利用促進協議会の事業として、メンテナンス港の先進事例を調査し、また洋上風力事業者からヒアリングを実施し、津軽港をメンテナンス港として整備する必要性、可能性をまとめていくところです。



風車部材を積み津軽港に入港した大型船

意見・津軽地域発展のため、本県日本海側唯一の港湾として、津軽港が重要な役割を果たしながら、経済発展に結びつけられるよう、鋭意努力されることをお願いします。

津軽地域一体となつて、県あるいは国、関係省庁等々に強く働きかけてまいります。

議員管内  
行政視察

西海小学校複式学級授業

ほかを視察

6月14日、議員10名が参加し、管内行政視察が行われました。  
視察場所は、西海小学校授業（2・3学年複式学級のようす、5学年のタブレット端末を利用した授業のようす）、舞戸中村線道路改良工事現場・交通安全対策事業現場の3カ所です。加藤隆之副町長が同行し、担当から現状の説明を受けました。

◆西海小学校授業参観

2・3学年複式学級のようす

西海小学校2学年（8名）・3学年（5名）の複式学級での授業のようすを参観しました。



西海小学校2・3学年複式学級の授業のようす

複式学級は、引き続き2つの学年の児童で編成する学級の人数が16人以下となった場合が基準となっています。  
授業では、先生の説明の後、2学年の児童がタブレット端末を使いキャラクターに指示を与え、動かしたり、音を出したりし、隣に座っている3学年の児童が、指示が正確に出せているか、キャラクターが動作しているかを確認し、上手く動作していない場合は、正しい指示となるように優しく教えていました。

5学年タブレット端末を利用した授業のようす

西海小学校5学年（14名）の授業ではタブレット端末を利用した授業のようすを参観しました。  
授業では、ドリルの感想（何を行おうだったか）を児童各自がタブレット端末に入力した後、先生に送り、他の児童の感想も共有されるようにして、端末上での意見交換をしていました。  
今後、オンラインでのやりとりがスムーズにできるように、授業で基礎練習を取り入れているとのこと。



西海小学校5学年の授業のようす

校長との意見交換

授業参観の後、行われた意見交換では、議員から、複式学級の良い点はどういう部分か、タブレット導入によるいじめ対策などどのような点が出ているのかなどの質疑が出ていました。  
また、複式学級での他



授業参観後に行われた意見交換

学年で教えあう姿を見て、イメージが少し変わったという意見もありました。

◆舞戸中村線道路改良工事現場

（後家屋敷から中下へ向かう道路の一部）



舞戸中村線道路改良工事現場

道路災害（冠水）対策として行う改良工事の現場を視察しました。  
防災・安全社会資本整備交付金を活用し、盛土を行い、バス路線でもあるため迂回路を設置予定とのこと。

通学路歩道整備事業として行う工事の現場を視察しました。  
道路交通安全施設等整備事業費補助金を活用し、街灯の撤去や道路を拡幅する予定とのこと。



舞戸中村線交通安全対策事業現場

◆舞戸中村線交通安全対策事業現場（JAつがるにしきたつがる白神支店前から館踏切付近まで）



議員行政視察

西北五環境整備事務組合  
西部クリーンセンターほかを視察

7月1日、議員9名が参加し、行政視察が行われました。  
今回の視察は、今年5月10日、五所川原市、つがる市、鶴田町、中泊町でつくる西北五環境整備事務組合と深浦町、鱈ヶ沢町でつくる西海岸衛生処理組合の関係市町による、「ごみ処理広域化の推進に関する基本合意」が締結され、令和18年度の共同利用開始を目指し、ごみ処理施設新設の協議をしていくことになったことから、行われたものです。  
視察場所は、西北五環境整備事務組合西部クリーンセンターとつがる市一般廃棄物最終処分場で、担当から現状の説明を受けました。



西部クリーンセンター外観

◆西部クリーンセンター  
(つがる市稲垣町)

西部クリーンセンターの概要説明を受けた後に施設内を視察し、最後に質疑を行いました。

この施設は、昭和61年供用開始以来36年が経過。令和2年度に30億円をかけて改修(延命)工事を行い、令和17年度まで稼働予定となっていました。施設は可燃ごみのみの搬入を受けていて、職員が交替制で24時間稼働。焼却後の灰は搬入量の割合により各市町の最終処分場で処理されているとのこと。  
令和18年度からは新施設が稼働予定で、今後、五所川原市、つがる市、鶴田町、中泊町、深



施設内を視察する議員

浦町、鱈ヶ沢町の6市町で協議し、広域化が検討されることとなっています。



搬入ごみがクレーンで均一化されるようす

△質疑内容▽

問(今議員) 焼却後の灰は再利用されているか。

答(西部クリーンセンター担当者) 再利用はされておらず、自治体の搬入量の割合で配分し、各自治体の最終処分場で処理されます。



視察した後に行われた質疑のようす

問(菊谷議員) 施設の延命につながるごみの出し方はあるか。

答(西部クリーンセンター担当者) ごみの水分が多いと焼却炉の下に水が溜り摩耗する原因となるため、ごみの水分を切ってもらいたい。また分別を行い、ごみも分ければ資源であるという意識を持ってもらいたい。

◆つがる市一般廃棄物最終処分場(つがる市木造菟植)



担当者から説明を受ける議員

令和3年度から埋立てが始まった施設で、令和17年度まで埋立てをする予定。



廃棄物埋立地に散水するようす

この施設は、埋立地を屋根で覆い、臭気の拡散、廃棄物の飛散、鳥などの動物の侵入を防いでいます。廃棄物を分解する微生物を活性化させるため、散水(地下水)を定期的に行い、埋立て部分を安定化させているとのこと。散水後の汚水は、ろ過され、きれいな水にして放流されているとのこと。  
西部クリーンセンターで出た焼却灰もこちらの施設に搬入され、埋立てされているとのこと。



議会ごとに配布されている議案

## 議会改革特別委員会が研修会

# ペーパーレス会議システム

## 概要について研修

5月18日、町役場委員会において、議会改革特別委員会委員6名とオプザバーの神孝議長が参加し、令和元年度に計画し、新型コロナウイルス感染症感染拡大により延期となっていた、ペーパーレス会議システムの運用についての研修会が行われました。

この日は、総務課職員も同席し、ペーパーレス会議システムのアプリを取り扱う代理店担当から概要の説明を受けました。

委員からは「紙の議案でなくなると大量に議案を保管しなくてよくなる」「端末で議案を追っていけなくなった場合はどうするのか」「初期経費と導入経費はどのくらいかかるのか」等の意見が出ていました。

今後、実際に運用している他町のようにすを視察する予定としています。



研修会のようす

このシステムは、クラウドを使用した資料共有システムで、クラウド内にある文書はいつでも閲覧できるようになっていて、タブレット端末で議案をどのように見られるのか、画面上でのメモ機能について、文

## 議会改革特別委員会が視察

# ペーパーレス会議システム

## 運用中の鶴田町議会を視察



タブレット端末の運用画面

7月28日、議会改革特別委員会委員5名とオプザバーの神孝議長が参加し、ペーパーレス会議システムを令和3年7月から導入し、令和3年12月議会からペーパーレス（紙ベースでの議案配布を完全に廃止し、タブレット端末で議案を配布）で議会での本格運用をしている鶴田町議会の状況を視察しました。

この日は、鶴田町議会事務局から説明を受け、同席された鶴田町議会



ペーパーレス会議システムの説明を聞く委員

北谷正則議長と長内齋副議長もタブレット端末を実際に使用しながら、委員からの質問を受けていました。

研修後、委員からは、「議会の時にメモを取るの難しいかもしれない」「議会の時に議事のスピードについていけるだろうか」「運用するとなるとコストがかかる」などの意見が出ていました。



タブレット端末で文書を見る委員



## 町村議会 議長・副議長 研修会



講演のようす

5月30日、東京国際フォーラムホールAにおいて、全国町村議会議長・副議長研修会が行われ、町議会からは、神孝議長、田中亨副議長が参加しました。

研修会では、「町村議会のあるべき姿」「町村議会議員報酬について」と題しての講演があり、二元的代表制の意義や議員のなり手不足の問題について聴講しました。

## 津軽圏域市町村議会議長 懇談会設立総会

6月29日、弘前市立中央公民館相馬館において、津軽圏域14市町村議会議長が出席し、圏域市町村の取り組みを側面支援するとともに、圏域市町村議会の情報共有と協調を図り、一体となって課題解決に取り組んでいくことを目的に「津軽圏域市町村議会議長懇談会」の設立総会が行われました。

設立にあたり、規約の制定、役員を選任、令和4年度事業計画等が議事として話し合われました。

今年度の役員には、会長に清野一榮弘前市議会議長、副会長に佐々木隆黒石市議会議長、神孝鱒ヶ沢町議会議長が選任されました。

今年度の事業として、必要に応じた関係機関への要望活動の実施、圏域共通の課題に関する調査研究などが行われる予定となっています。



櫻田宏弘前市長の特別講演のようす

議事の終了後、櫻田宏弘前市長による「圏域全体で津軽を！〜一般社団法人Clean PEONY津軽の役割について〜」と題して、市町村広域で行われているClean PEONY津軽の業務や今後の広域観光連携などについての特別講演が行われました。

## 県下町村議会議員研修会 「今後の政局・政治展望」



講演する田崎史郎氏

7月13日、リンクモア平安閣市民ホール（青森市）において、県下町村議会議員研修会が行われ、町議員10名が参加しました。

講師にはテレビ番組などにも多数出演している政治ジャーナリストの田崎史郎さんが招かれ、「今後の政局・政治展望」と題しての講演がありました。

田崎氏は、先日亡くなられた安倍晋三元首相のエピソードを交えながら、人間関係の築き方について、今後の国政の行方についてなどを話していました。

## 西北津軽郡町議会議長会主催 青森県知事講演会



三村申吾青森県知事による講演のようす

7月22日、板柳町多目的ホールあぶるにおいて、西北津軽郡町議会議長会主催による青森県知事講演会が行われ、町議員9名が参加しました。

講師には、三村申吾青森県知事が招かれ、「攻めの農林水産業」について題しての講演がありました。

三村県知事は、スクリーンに映された資料や県産品のPR動画などにより、農林水産業を取り巻く現況や県としての取り組みを紹介し、農業収入を安定させ、日本の原点である農山村集落や食文化を残していきたいと話していました。

# 令和4年8月豪雨災害

～罹災証明書及び被災証明書の申請を受け付けています～  
詳しくは、町役場総合窓口課へお問い合わせください。



鱒ヶ沢駅周辺の様子（8月9日）



水没したアコ養殖池（8月9日）



冠水した国道101号バイパス（8月9日）



水が引いた国道101号バイパス（8月10日）



災害ごみ回収の様子（8月15日）



回収され旧大高山スキー場駐車場に置かれた災害ごみ（8月15日）

この度の豪雨により被災された皆さまへ  
心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早く  
復旧されますようお願い申し上げます。

鱒ヶ沢町議会